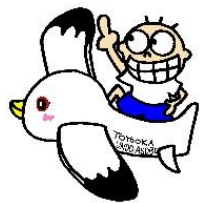




ぴょんぴょん VOL.4

豊岡市教育委員会
幼児育成課
2025年2月6日（木）発行



運動遊びを通して園小連携交流会を実施しました！

昨年に続き、八条認定こども園5歳児・八条小学校1年生が園小連携交流会で運動遊びをしました。とても素敵な様子がたくさん見られましたので、ご紹介します。最初は緊張した表情の子ども達でしたが、体を触れ合って遊ぶうちに自然と距離が縮まり、気持ちを弾ませながら楽しんでいることが伝わってきました。子ども達同士の心が通っていく様子を見て、人と関わり、触れ合って遊ぶ経験の大切さを改めて実感しました。コロナ禍では感染症対策で様々な制限がありましたが、今後は状況に合わせた配慮をしながら、友達とたっぷり触れ合う遊びを、日々の保育の中に積極的に取り入れてみてください。



五荘奈佐幼稚園で親子運動遊びを開催しました！

五荘奈佐幼稚園でPTA活動の一環として親子運動遊びを開催しました。心温まる、その一部をご紹介します。親子での運動遊びを子ども達は目を輝かせながら楽しんでおり、一緒に遊ぶことが心から嬉しい！という思いが溢れていました。一方で、初めて経験する保護者の方は、最初は緊張した様子も見られましたが、体を動かし始めるとすぐに表情が和らぎ、わが子と一緒に遊ぶかけがえのない幸せな瞬間を過ごしておられることが伝わってきました。各園におかれましても、園行事等でご多忙かと存じますが、ぜひ親子で楽しめる運動遊びもご検討いただき、巡回訪問の計画に取り入れていただけますと幸いです。（土曜日でも構いません！！）



本年もよろしくお願いいたします。

あっという間に新年を迎えて早1か月。すでに今年度の巡回訪問が終了した園や、これから最終回で行かせていただく園もありますが、本年も先生方や保護者の方にご理解・ご協力をいただきながら、子ども達と元気いっぱい運動遊びができることを楽しみにしています。

まだ寒い日が続きますが、先生方におかれましては子ども達と同様、風邪等に気を付けながら健康第一でお過ごしください。

幼児育成課 山内 夢斗哉・上野 真希



運動遊びに関する情報を発信しています。

のびのび遊ぶと集中力・抑制力が育つ

幼い子どもの動きには、興奮を伴うものが多いですが、実はそこには大きな理由があることをご存じでしょうか？今回は知っておくと得する脳の発達段階についてご紹介します。

脳の発達には、興奮系の部分が先に成長し、その後に抑制力が育まれる『興奮系優位』の段階で進行します。そして、多くの興奮系の動きを十分に経験することで、発達に応じた抑制力が身に付くことが分かっています。

つまり、子どもが思いのままに動き回ったり泣いたりするのは自然な発達過程であり、我慢を意識させすぎるより心身を発散させることを楽しむ方が、抑制力を育む近道になると言えます。

また、抑制力は遊びの中でも育むことができます。特に「思い切り動く⇒ピタッと止まる」といった、素早く動きを変化させる遊びが効果的です。ぜひ、日々の遊びに取り入れてみてください♪

各園で、子ども達と一緒に「動」と「静」のメリハリのある遊びを楽しみ、子ども達の成長を実感できる場面が増えると、保育の楽しさがさらに広がりそうですね！



興奮の大きさに合わせて抑制する力も成長していく！！

参考文献：発達障害の子の脳を育てる運動遊び/監修 柳澤弘樹/2015

～2024年度5歳児の生活状況アンケート調査結果～

豊岡は「体を動かして遊ぶことが好きな子ども」が育つ！

体を動かして遊ぶことが好きな園児の割合	99.5%
運動遊び事業が導入されていることを良いことだと思っている保護者の割合	99.8%

豊岡の子ども達が、運動が得意な子どもでない子ども、体を動かして遊ぶことに意欲的であること、そして保護者の方が運動遊び事業に高い関心と期待を寄せてくださっていることを、大変嬉しく思います。

5歳児生活状況アンケート調査へのご協力いただき、誠にありがとうございました。先生方が日々、熱意をもって運動遊びに取り組み、子ども達の心を前向きにくださっていることに深く感謝いたします。これからも豊岡の子ども達が元気でたくましく健やかに成長していくことを願い、先生方と力を合わせながら、楽しい運動遊びを通して、子ども達の体づくりに努めていきたいと思っております。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。